

外国語活動学習指導案

単元名 Unit 5 What do you like?

令和5年10月 第3学年 指導者 T1 須永 敏光 ALT 恩田 マリア デーリ

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編（平成29年7月）の内容〔思考力、判断力、表現力等〕（2）「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」の指導内容イ「身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり質問に答えたりすること。」に基づいて設定した。

本単元の学習を通して、児童は”What ~ do you like?” を使って、既習表現である “Do you like ~?” よりも幅のある尋ね方ができるようになることで、コミュニケーションが更に豊かになり、今まで以上にやり取りすることの楽しさを味わうことができる。また、ALT へのおすすめランキングを作成するという場面設定により、目的意識や相手意識をもって工夫しながら伝え合う思考力、判断力、表現力等を高めることができると考える。

2 研究との関わり

学習指導要領では、小学校外国語活動において、「自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地」や「相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度」を養うことが求められている。また、令和5年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）では、「実生活と関連付けた目的、場面、状況を意識し、既習事項を駆使しながら自分の思いや考えなどを伝え合う言語活動を設定する」ことが、外国語活動の重点として挙げられている。

本単元では、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うために、

「Enjoy Speaking Time (EST)」と「What's this in English?クイズ」を取り入れる。ESTは英語によるコミュニケーションを「気軽に」「楽しく」行えるようになることを目的に英語でのやり取りを行う短時間の活動であり、What's this in English?クイズは、身近にありながら英語での表現が分からないものを児童が普段から見付けておき、授業の導入で数名がクイズを出す活動である。これらの活動に、継続的に取り組ませることで、授業以外の生活でも英語に親しみと関心をもち、授業での言語活動により意欲的に取り組む態度を育てることができると考える。

3 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	・英語の音声や、既習の表現を用いたやり取りに十分慣れ親しんでいるとは言えない児童が3割程度見られる。
思考力、判断力、表現力等	・ALT へのおすすめランキングを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。	・相手に伝えるための工夫を知識として知っていても実際の場面で、繰り返したり相づちをうったりしながらやり取りをすることができる児童は少ない。
学びに向かう力、人間性等	・ALT へのおすすめランキングを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。	・相手に伝わるよう工夫しながら粘り強く取り組むことができず、日本語を使ってしまう児童が3割ほど見られる。

4 評価規準

知識・技能	・給食やスポーツ、果物など身の回りのものについて、“What ~ do you like?” や “I like ~.” を用いて、あるカテゴリーの内から何が好きかを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	・ALT へのおすすめランキングを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、給食やスポーツ、果物など身の回りのものについて、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。
主体的に学習に	・ALT へのおすすめランキングを作るために、相手に伝わるように工夫しながら

取り組む態度	ら、給食やスポーツ、果物など身の回りのものについて、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
--------	---

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全4時間：本時第4時） 注：学習過程ははばプラⅡを参照する

過程	時間	■ねらい <input type="checkbox"/> 学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ <input type="checkbox"/> 指導に生かす評価 <input checked="" type="checkbox"/> 評定に用いる評価
つかむ	第1時	■身の回りのものの言い方を知るとともに、日本語と英語の音声の違いに気付く。 <input type="checkbox"/> EST 好きなもののランキングを作ろうという単元の目標を把握する。 <input type="checkbox"/> Let's Play おはじきゲーム（★） 身の回りのものの言い方を知る。	○		○	◆日本語と英語の音声の違いに気付いている。 〈観察・振り返りシート点検（知）（態）〉
[単元の学習課題] ALTへのおすすめランキングを作ろう。						
追究する	第2時	■身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <input type="checkbox"/> Let's Watch and Think 登場人物の好きなものを予想し、尋ねたり答えたりする。	○			◆何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 〈観察・振り返りシート点検（知）〉
	第3時	■何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 <input type="checkbox"/> Activity ランキング作成のための話し合い（カテゴリーを考える等）をする。	○	○	○	◆繰り返したり相づちをうったりして相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 〈観察・ワークシート（知）（思）（態）〉
まとめ	第4時 本時	■相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりする。 <input type="checkbox"/> EST（最終の活動への見通しをもたせる） Activity 自分で決めたカテゴリーについて、何が好きかを尋ねたり答えたりするインタビュー活動をする。	●	●	●	◆繰り返したり相づちをうったりして相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしている。 〈観察・ワークシート・振り返りカード点検（知）（思）（態）〉
[本時のめあて] 友達に好きなものをインタビューして、ALTへのおすすめランキングを作ろう！						

II 第4時の学習

- ねらい ALTへのおすすめランキングを作るためのインタビュー活動を通して、相手に伝わるように工夫しながら何が好きかを尋ねたり答えたりできるようにする。
- 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
---	-----------------------------------

<p>1 挨拶をする。 (導入5分) Good afternoon. How are you?</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。 ・Small Talk S1: ゆっくりやりとりしよう。 S2: 繰り返しが大切だったな。 S3: 「自分もそうだよ」は “Me, too.” だったな。 S4: 今日はおすすめランキングを作るんだ。</p> <p>・Let' s Chant.</p>	<p>○相手意識をもってやり取りに取り組めるように、どのようなことを意識したらよいか (ゆっくり話す、相手が言ったことを繰り返して確認する、動作を交えるなど) について、教師の Small Talk を通して学級全体で確認するとともに、本時のめあてを知る。</p> <p>T :Everyone! Look at this! This is Daitohsho Teacher' s おすすめ Manga Ranking. I like Dragonball very much. Do you like Dragonball?</p> <p>S1 :Yes. T :Oh, you like Dragonball. Nice! How about you? Do you like Dragonball?</p> <p>S2 :No. T :(早口で)What Manga do you like? Oh, I' m sorry. (ゆっくり)What Manga do you like?</p> <p>S2 :I like ~. T :You like ~. Good! Today we make おすすめ Ranking for Maria Sensei! Yeah!! (児童と一緒に)</p> <p>ALT: I' m so excited! T :<u>Me, too!</u> (相づち)</p> <p>○Chant を通して活動で使う基本的な表現の確認ができるようにする。</p>
<p><本時のめあて> 友達に好きなものをインタビューして、マリア先生へのおすすめランキングを作ろう!</p>	
<p>3 帯活動を行う。 (展開①8分) ・What' s this in English?クイズ T1: What' s this? (これまでに出题されたクイズの中から2~3問尋ねる) T1: What' s this? (栗の写真を見せる) S1: 栗! T1: In English, please! S2: モンブラン? S3: マロン? T1: Great! But, no. It' s French. S4: Hint, please! T1: Ok. I' ll give you a hint. ○○nut. S5: ピーナッツ! T1: No, but nice challenge! The answer is Chestnut.</p> <p>・E S T (What ~ do you like?) T1: Everyone, I like chestnut very much. But I don' t like Mont Blanc (写真を見せる). Do you like Mont Blanc? Well, what dessert do you like? (何名かの児童に尋ねる) S1: Hi, what dessert do you like? S2: I like cream puff. S1: Oh, you like cream puff. S2: What dessert do you like? S1: I like chocolate cake. See you!</p>	<p>◎児童の英語による思考を促し、英語に慣れ親しむことができるように What' s this in English?クイズを行う。</p> <p>○全員が答えられる既習のクイズにはじめに触れることで、活動への意欲を高められるようにする。</p> <p>◎児童が英語によるコミュニケーションに気楽に楽しく取り組めるようにし、単元終末の言語活動につながる表現に慣れ親しむことができるように、E S Tを行う。</p>

<p>4 メインの活動を行う Activity (展開② 27分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT へのおすすめランキングを作るためのインタビュー活動を行う。 やり取りをして分かった友達の好きなものを、ワークシートに記入する。 モデルのやりとりを聞き、本時の中心となる活動について知る。 <p>S1: ランキングを作るためにインタビューするんだな。 S2: 何が1位になるかな。 S3: 繰り返しをちゃんと使おう。 S4: 相づちをうてるようにしよう。 S5: 全員に聞けるようにがんばろう。</p> <p>S1: Hi, what ○○ do you like? S2: I like □□. S1: Oh, you like □□. Nice! S2: What △△ do you like? S1: I like ◇◇. S2: Oh! Me, too! Thank you. S1: Thank you!</p> <p>5 ALT へのおすすめランキングを作成し発表する。</p> <p>S1: This is ○○ Ranking! S2: The 3rd place is ◇◇. S3: The 2nd place is △△. S4: The 1st place is □□.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分達がインタビューするカテゴリーをワークシートに記入させる。 自分たちのカテゴリーで、1位から3位までが何になるかを、予想させる。 本時のめあてを達成した姿を児童が具体的にイメージできるように、教師の実演を通してやりとりを提示する。 <p>T : Hi, Maria Sensei. What amusement park do you like? ALT: I like Disney Land. T : Oh, you like Disney Land! Me, too. ALT: Mr. Sunaga. What juice do you like? T : Umm, I like Cola. ALT: Me, too. Thank you! See you. T : Thank you. See you!</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>繰り返したり相づちをうったりして相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈観察・ワークシート・振り返りカード点検(思)〉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> グループ内で分担し、全員が発言できるように話し合わせる。
<p>6 本時を振り返り、振り返りカードに記入する。 (終末5分)</p> <p>S1: たくさんインタビューできてよかったな。 S2: マリア先生に喜んでもらえて、嬉しいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの取り組みを肯定的に捉えて自己評価できるように、Activityの様子を振り返り称賛する。

3 板書計画 注: 写真やICT活用の際の画面も可とする

Unit5 What do you like?

Today's Goal 友達に好きなものをインタビューして、マリア先生へのおすすめランキングを作ろう!

What ○○ do you like?

I like ◇◇.

おすすめ Ranking for Maria Sensei





ゆっくり

繰り返し

相づち Me,too.